

# 八事斎場再整備事業

## 審査講評

令和5年12月

名古屋市

## 目次

1 優秀提案者の概要 .....	1
(1) 優秀提案者の決定方法 .....	1
(2) 審査の方法 .....	1
(3) 評価体制 .....	1
2 審査の経緯 .....	1
3 審査の結果 .....	3
(1) 資格審査 .....	3
(2) 提案審査 .....	3
ア 基礎審査.....	3
イ 総合評価 .....	3
4 審査講評 .....	9
(1) 個別講評 .....	9
(2) 総括 .....	10

## 1 優秀提案者の概要

### (1) 優秀提案者の決定方法

優秀提案者の決定の方法は、入札時に技術提案を求め、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式一般競争入札とした。入札公告時に公表した落札者決定基準に従って資格審査を行った上で、総合評価点の最も高いものを優秀提案者とした。

### (2) 審査の方法

審査は、落札者決定基準に従って、「資格審査」と提案内容を評価する「提案審査」の二段階にて実施した。

「提案審査」は、提出書類の全てが提出され、提出書類に記述のある事項に矛盾又は齟齬等がないかの確認、入札書に記載された金額が予定価格の範囲内にあるかの確認及び事業遂行等に関する基礎的事項の確認を行う「基礎審査」と、施設性能等の提案内容の水準と価格について様々な視点から総合的に評価する「総合評価」を行った。

### (3) 評価体制

事業提案書の審査は、名古屋市（以下「市」という。）が設置した八事斎場再整備事業事業者評価会議（以下「評価会議」という。）において行った。評価会議の委員は、下表のとおりである。（敬称略、五十音順）

【表1 評価会議委員】

役職	氏名	所属（役職・肩書）
委員	生田 京子	名城大学理工学部建築学科・教授
委員	小野田 誓	公認会計士小野田誓事務所・公認会計士
委員	加藤 義人	名古屋都市センター・特任アドバイザー 岐阜大学工学部・客員教授
委員	榎田 玄一郎	愛知工業大学工学部機械学科・教授
委員	鈴木 賢一	名古屋市立大学・特任教授

## 2 審査の経緯

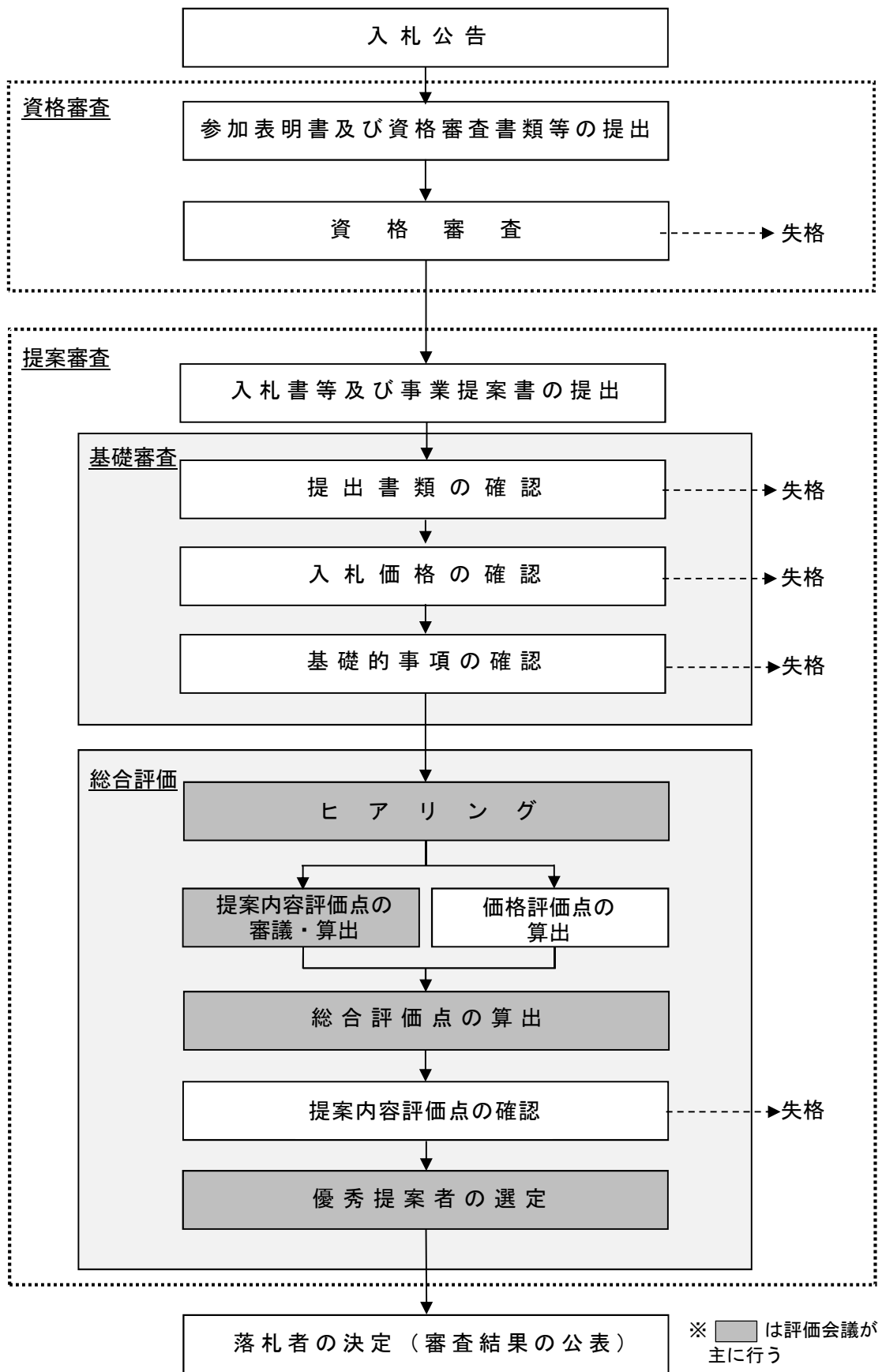
優秀提案者決定までに至る評価会議の審査経緯は以下のとおりである。

【表2 評価会議の開催及び優秀提案者選定までの経緯】

日程	内容
令和5年 1月24日	第1回評価会議
令和5年 2月 3日	実施方針、要求水準書（案）の交付・公表
令和5年 3月20日	第2回評価会議
令和5年 4月26日	第3回評価会議
令和5年 5月31日	入札公告、入札説明書等の交付・公表
令和5年 6月29日	入札説明書等に関する質問回答の公表
令和5年 7月11日	官民対話の実施
令和5年 7月26日	官民対話における質問回答の公表
令和5年 9月 1日	入札書及び事業提案書の受付、開札
令和5年10月16日	第4回評価会議
令和5年11月13日	第5回評価会議（優秀提案者の選定）

### 【落札者決定までの流れ】

——▶ 満たしている -----▶ 満たしていない



### 3 審査の結果

#### (1) 資格審査

令和5年6月15日までに参加表明書及び競争入札参加資格確認申請書等の受付を行ったところ、下表のとおり、2グループから参加表明があり、資格審査を行った。資格審査の結果、すべての応募グループについて、入札説明書に定める参加資格要件を満たしていることを確認した。

【表3 参加表明を行った応募グループの概要】

グループ名	構成員
大林組グループ	・株式会社大林組 名古屋支店 ・徳倉建設株式会社 ・株式会社アール・アイ・エー 名古屋支社 ・太陽築炉工業株式会社
鴻池組グループ	・株式会社鴻池組 名古屋支店 ・株式会社麦島建設 ・株式会社山下設計 中部支社 ・株式会社宮本工業所

#### (2) 提案審査

令和5年9月1日までに資格審査を通過したすべての応募グループから入札書及び事業提案書の提出を受け、以下の基礎審査及び総合評価を行った（以下、入札書及び事業提案書を提出した応募グループを「入札参加者」という。）。

##### ア 基礎審査

入札参加者の提案内容が、落札者決定基準に定める基礎審査項目（提出書類の確認、入札価格の確認、基礎的事項の確認）を満たしているか審査を行った。その結果、すべての入札参加者の提案内容について基礎審査項目を充足していることを確認した。

##### イ 総合評価

###### (ア) ヒアリング

第5回評価会議において、すべての入札参加者に対して、提案内容についてのヒアリングを行った。

###### (イ) 提案内容評価

入札参加者へのヒアリングを踏まえた上で、落札者決定基準に定める評価項目及び評価内容に従って、評価会議の各委員が提案内容の評価項目ごとに採点した。評価点の算出方法は、各委員が評価項目毎にA～Dの4段階の採点基準で評価したものの平均値を評価点とした（800点満点）。

【表4 採点基準】

評価	評価内容	採点基準
A	要求水準を超える優れた提案があり、具体性や実現性がある。	配点×1.00
B	要求水準を超える提案があり、具体性や実現性がある。	配点×0.75
C	要求水準を満たす程度の提案があり、具体性や実現性がある。	配点×0.50
D	要求水準を満たす程度の提案があるが、具体的や実現性が十分でない。	配点×0.25

【表5 提案内容評価の評価項目】

項目		評価の視点	配点
1 事業計画に関する評価			80
1-1	事業実施の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の目的及び整備方針を十分に理解した基本方針となっているか。</li> <li>●事業特性、立地条件等を考慮した基本方針となっているか。</li> <li>●管理運営の視点、施設の利用者の視点を踏まえた基本方針となっているか。</li> </ul>	20
1-2	事業実施体制、役割分担及びモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業期間を通じ、本事業を円滑に実施する実施体制（適切な人員・バックアップ体制）となっているか。</li> <li>●代表企業、構成員等の役割分担が適切・明確か。</li> <li>●事業を統括する企業、責任者及び各業務の責任者・技術者について、適切・明確か。</li> <li>●代表企業、構成員等の組織間の連携、意思疎通を円滑とするための具体的かつ効果的な取り組みが提案されているか。</li> <li>●市が行うモニタリングへ効率的に寄与する取り組みが提案されているか。</li> <li>●業務の質の維持・向上を図るためのセルフモニタリングの方法が提案されているか。</li> </ul>	20
1-3	工程等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●重点管理すべき工程が明確化された上で、不測の事態に備えた工程上の余裕を一定程度確保し、要求水準書に示されているスケジュールに対して確実に竣工が可能なスケジュールとなっているか。</li> <li>●工事（解体・撤去工事を含む）による近隣への影響に配慮した計画となっており、その影響を最小限に抑える具体的な工夫が提案されているか。</li> </ul>	20
1-4	リスクへの適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本事業に特有なリスクも含め、業務遂行にあたり想定されるリスクが的確に分析されているか。</li> <li>●リスク低減・防止及び効果的な対応策が提案されているか。</li> </ul>	20
2 全体整備計画に関する評価			180
2-1	施設配置、外部動線計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>●狭隘な土地を有効活用し、周辺の地形等を踏まえた合理的かつ利便性の高い施設配置となっているか。</li> <li>●施設へのアプローチについて、人体火葬と動物火葬利用との区分、歩車分離など適切に配慮されているか。</li> <li>●利用者・葬祭業者・職員等の各車両動線が交錯しないような提案がされているか。</li> <li>●利用者が利用しやすいなど、適切な駐車場計画となっているか。</li> </ul>	80
2-2	意匠(外観)、外構・緑化計画、擁壁計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>●火葬場としてふさわしい品格があり、意匠性の高い外観となっているか。また、整備範囲全体（擁壁を含む）を通して、周辺環境と調和する景観が形成されているか。</li> <li>●周辺住民や歩行者及び利用者からの見え方に配慮し、圧迫感を軽減する提案がされているか。</li> <li>●斎場にふさわしい樹種が選定され、会葬者が安らぎを覚えるような緑化計画となっているか。</li> <li>●周辺住民や歩行者から施設が視認しにくくなるよう、植栽等に工夫が施されているか。</li> </ul>	100

項目	評価の視点	配点
3 施設整備計画に関する評価		300
3-1	ゾーニング計画、内部動線計画	80
3-2	意匠(室内)、快適性、機能性	100
3-3	環境への配慮	60
3-4	維持管理・運営の配慮	40
3-5	災害時・非常時等における対策	20

項目	評価の視点	配点	
4 火葬炉整備計画に関する評価		240	
4-1	全般		
	全体コンセプト	●火葬炉設備の全般的なコンセプトとして、要求水準に定めていない事項等を含め、優れた提案がされているか。また、独自技術等による効果的な提案が示されているか。	20
	省スペース化	●火葬炉設備の構成は適切かつ省スペース化が図られ、配置場所及び設置に要する面積、容積は適切なものとなっているか。	20
	自動化、安全対策	●火葬炉設備の運転プロセス、作業の自動化が図られ、省力化に資する提案がされているか。 ●災害時にインフラが寸断された場合においても、迅速に火葬を再開し、適切に火葬が継続できるものとなっているか。 ●機器の異常発生や停電などの非常時における安全性が確保され、迅速に火葬を再開し、適切に火葬が継続できるものとなっているか。	20
4-2	排ガス処理設備及び環境性能	●火葬炉排ガスに係る基準を恒常的に遵守するための具体的な提案がされているか（動物火葬を含む）。 ●燃焼状況、排気ガス成分状況のモニタリング及び制御装置について適切な提案がされているか。 ●設備から発生する騒音・振動、白煙、水銀等その他火葬炉の環境対策に関する機能や設備について適切な提案がされているか。	100
4-3	火葬時間等	●冷却を含めた火葬1サイクルに要する時間の短縮について提案がされているか。 ●火葬炉1基あたり1日2.5サイクルの火葬を行った場合の火葬枠について、利用しやすい時間帯に設定されているか。	40
4-4	更新性・作業性等	●火葬炉設備は、十分な耐久性を有し、長期間に亘り、排ガス処理性能を維持するための具体的な提案がされているか。 ●動物火葬炉は、1日5サイクルの使用に耐え得るものとなっているか。 ●維持管理等における作業性、修繕、更新を考慮した配置や仕様になっているか。 ●維持管理、修繕費等のランニングコストの低減に資する提案がされているか。 ●火葬炉設備の燃焼効率等の省エネルギー化が図られているか。	40



各グループからの提案に対しての提案内容評価の結果は、下表のとおり。

【表6 提案内容評価の結果】

評価項目	配点	大林組グループ	鴻池組グループ	
提案内容評価点				
1 事業計画				
事業実施の基本方針	20	17.000	16.000	
事業実施体制、役割分担 及びモニタリング	20	14.000	13.000	
工程等	20	13.000	13.000	
リスクへの適切な対応	20	12.000	13.000	
2 全体整備計画				
施設配置、外部動線計画	80	65.000	76.000	
意匠(外観)、外構・緑化計画、 擁壁計画	100	52.000	85.000	
3 施設整備計画				
ゾーニング計画、内部動線計画	80	52.000	72.000	
意匠(室内)、快適性、機能性	100	80.000	85.000	
環境への配慮	60	39.000	45.000	
維持管理・運営への配慮	40	26.000	30.000	
災害時・非常時等における対策	20	15.000	13.000	
4 火葬炉整備計画				
全般	全体コンセプト	20	16.000	15.000
	省スペース化	20	15.000	17.000
	自動化、安全対策	20	14.000	15.000
排ガス処理設備及び環境性能	100	75.000	70.000	
火葬時間等	40	28.000	30.000	
更新性・作業性等	40	26.000	30.000	
合 計	800	559.000	638.000	

(ウ) 入札価格の確認

市において、入札書に記載された入札価格が予定価格の範囲内にあることを確認した。

その結果、すべての入札参加者の入札価格が予定価格の範囲内であった。

【表 7 入札価格の確認】

区分	大林組グループ	鴻池組グループ
入札価格	17,770,000,000円	17,700,000,000円
入札価格／予定価格	99.98%	99.59%

※入札価格及び予定価格は、消費税及び地方消費税を除く。

予定価格 17,772,679,000円

入札価格／予定価格の割合の端数は小数点以下第3位を四捨五入。

(エ) 価格評価

落札者決定基準に定める計算式に従い、各入札参加者の入札価格を200点満点で得点化した。評価の結果は下表のとおりである。

【表 8 入札価格結果】

評価項目	配点	大林組グループ	鴻池組グループ
価格評価点	200	199.212	200.000

(オ) 優秀提案者の選定

価格評価点（200点満点）と提案内容評価点（800点満点）を合計して総合評価点を算出し、総合評価点が最も高い提案を行った鴻池組グループを優秀提案者として選定した。

【表 9 総合評価点】

	大林組グループ	鴻池組グループ
価格評価点（200点満点）	199.212	200.000
提案内容評価点（800点満点）	559.000	638.000
総合評価点（1000点満点）	758.212	838.000
順位等	2	1

【表 10 優秀提案者】

グループ名	構成員	業務分担
鴻池組グループ	株式会社鴻池組 名古屋支店	設計・施工
	株式会社麦島建設	施工
	株式会社山下設計 中部支社	設計・工事監理
	株式会社宮本工業所	火葬炉の設計及び製作

## 4 審査講評

### (1) 個別講評

#### ◇大林組グループ

- ・市が要求水準書において示した整備方針に対して、これまでの運営実績を踏まえた適切な事業方針が提案されている。
- ・八事の風土や歴史を踏まえ、外装には愛知県産のタイルを採用し、落ち着きと火葬場としての品格を有し、周辺の景観と調和するデザインとなっている。
- ・会葬者、動物炉利用者、職員の出入口が分けられ、動線交錯がない明快な駐車場計画となっている。
- ・建物の入口を敷地の内側に配置し、施設利用者を周囲から見えにくくするなど、外部からの見え方に配慮された計画となっている。
- ・会葬者同士が交錯することがないプライバシーに配慮された会葬者動線であるとともに、会葬者エリアと管理運営エリアが明確に分離されていることから、会葬者と職員の動線交錯も発生しない内部動線計画となっている。
- ・すべての人に分かりやすいシンプルな施設計画となっている。
- ・告別収骨室及び待合室は火葬炉1炉に対して1室設けられている。
- ・火葬炉からの排出ガスについて、基準値を満足する実績を十分に有しており、安定した排ガス処理が期待できる。

#### ◇鴻池組グループ

- ・丘陵地であることを踏まえ、周囲からの見え方に配慮した弓なり環状とし、八事の風景にとけこむ外観デザインとなっている。
- ・十分な駐車台数が確保されているとともに、車両動線がわかりやすいものとなっており、利用者にとって利便性の高い駐車場計画となっている。
- ・施設を環状で構成することにより、スペースの効率化を図るとともに利用者エリアと管理運営エリアが明確に分離されている。
- ・環状の施設計画において懸念される拡張性に関して、火葬炉を3炉増設可能なスペースをあらかじめ確保するなど、将来の火葬需要に対するリスクに対応可能な独自の提案となっている。
- ・告別収骨室及び待合室は火葬炉1炉に対して1室設けられている。
- ・建物中心に光庭を設けることで、内側からも光を採り入れることができるなど、採光に工夫がされ、明るく温かみのある室内意匠となっている。
- ・地下からの搬入経路を設けるなど、維持管理等における作業性、修繕のしやすさに配慮した施設計画となっている。
- ・中央監視室、事務室等が中央に配置されており、各箇所スムーズにアクセスすることができるなど、運営の効率性に配慮した施設構成となっている。
- ・ZEB Ready 及び CASBEE 名古屋 S ランクを達成し、環境に配慮した提案となっている。
- ・火葬炉の排出ガスについて、適切に処理できる提案となっている。
- ・火葬炉はすべて大型炉となっており、運営に配慮した火葬炉構成となっている。

## (2) 総括

参加した2グループの技術提案は、いずれも意欲的で創意工夫にあふれ、随所に市があらかじめ提示した要求水準を上回る提案内容を含むものであった。

優秀提案となった鴻池組グループの提案は、各評価項目において概ね高い評価を受けた。とりわけ評価項目2の全体整備計画における意匠（外観）、外構・緑化計画、擁壁計画及び評価項目3の施設整備計画における意匠（室内）、快適性、機能性については、高い評価を受けた。

落札者決定基準に基づいて厳正かつ公正に審査を行った結果、鴻池組グループを優秀提案者に選定した。

今後、鴻池組グループが市と事業契約を締結し、本事業を実施する際には、提案内容について質を落とすことなく確実に遂行することは当然のこと、次の点についても十分配慮し、市とのパートナーシップのもとで本事業の更なる向上に努めるよう要望する。

- ・提案した工程が履行されるよう工程管理に努めること。また、社会動向の変化による工程の遅延については、対応策の具体案を市に提示したうえで、協議を行うとともに対応策を確実に実施すること。
- ・組織間の連携、意思疎通を円滑にするための取り組みが提案されているが、バックアップ体制も含めて、実際に従事する技術者がかなりの多数に及ぶ事になることから、各社な連携が図られるよう代表企業としての役割も含めて、調整を確実に実施すること。
- ・本事業は住宅地での長期間にわたる工事となることから、工事中の安全確保や周辺環境への配慮など、近隣への配慮について市と協議をしながら確実に対応すること。
- ・火葬炉のランニングコスト低減や省エネルギー化等の提案内容について、より具体的な検討を進め、その実現に努めること。

最後に、2グループから提出をいただいた提案は、いずれも本事業の趣旨を十分理解した素晴らしい内容であった。本事業に対する熱意ある提案に対して高く評価しており、重ねてここに深く感謝を申し上げます。